

事業所における自己評価結果
(放課後等デイサービス 公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 ソフィアスペース上津役

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員の観点から適切なスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○			安心・安全を担保する為に基準以上の人員を確保しつつ、専門的知識を持つスタッフを配置している。	ご利用者様に更に寄り添った支援が出来るよう、また今まで以上に手厚い支援を行う為にも、配置スタッフを増やしていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			2階への階段については、手摺を備え付けている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			朝礼やカルテを用いて、情報の共有化を図っている。	今後は、スタッフ一同が出席し、PDCAサイクルに参画する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			○		今回が初回の評価表となる為、今後、保護者様の意向等を把握し、公開するものとする。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			○		今回が、初回の評価表となる為、今回より、保護者様の意向等を把握し、公開するものとする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		現状、外部評価を行っていないが、前向きに検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月に一度の勉強会の他に外部に委託し、zoomにて学ぶ機会を設けている。	今後も資格取得を含め、個々が学ぶ機会を積極的に推奨していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリングをもとに、個々の利用児童に合わせた計画書を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			療育カルテを導入している。	療育カルテが上手く活用できていない所も見受けられる為、質の高い療育を行う為に、確りと活用していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			児童指導員・公認心理士が中心に会議し活動計画を考えている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用児童の適正を考慮しつつ、毎日、日替わりで工夫した活動を行っている。	プログラムが固定化されないよう、今後も工夫を続けると共に、自立に向けたプログラムの立案も積極的に行う。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用児童の適正を考慮しつつ、毎日、日替わりで工夫した活動を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援と集団活動を織り交ぜつつ、個々の療育に取り組んでいる。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			担当職員同士での打ち合わせを行い、活動や送迎の確認、個別支援の分担等の確認をしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			担当職員同士での打ち合わせを行い、その日の支援での児童の様子や、送迎時に気づいたこと、活動や支援の振り返り等を共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			療育カルテ・ケア記録に記録を残し、振り返りを行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的なモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	○			6か月毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	○			ホームページをはじめ、インスタグラム・お手紙・ご利用者様向けアプリにて発信し、支援を行っている。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○			必ず児発言が参画している。必要に応じ公認心理士等、その他の者が同席する事もある。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	○			ご利用開始時には、必ず学校の担任の先生にご挨拶させて頂き、密な連絡がとれるよう心掛けている。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いる			○	該当なし	今後、移行される方がいる場合には、医療機関等と連携を整えていく。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	○			幼稚園等とも情報共有させて頂いている。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	○			現状、移行するお子様がいらっしゃらないが、必要に応じて適切な対応をさせて頂く。	
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	○			児童発達支援センターを併用利用されているお子様については、連携させて頂いている。	今後は、併用利用されているお子様以外でも連携が行えるようにしていく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある	○			主に土曜日、月に3度ほど交流の場を設けている。また、公園レクでは、遊びに来ているほかのお子様との交流を行うこともある。	
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している			○	現状、移行するお子様がいらっしゃらないが、必要に応じて適切な対応をさせて頂く。	
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○			送迎時やアプリを用い、日々やりとりを行っている。必要な時は、電話や来所にて、ゆっくりとお話をさせて頂いている。	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	○			必要に応じて、面談・助言等を行わせて頂いている。	
関係機関や保護者との連携	⑳〇 運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	○			契約時に、重要事項説明書の中で、説明をさせて頂いている。	
	⑳① 保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っている	○			必要に応じて、面談・助言等を行わせて頂いている。	
	⑳② 父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士の 連携を支援している			○	今後、要望があれば保護者会や保護者向けのイベントを行う予定。	親子参加型プログラムを立案し、要望があれば保護者同士の交流を行える準備を行う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情窓口については、契約時に説明させている。苦情の際には迅速かつ適切に対応させて頂く。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ご利用者様向けアプリを使い、日々の活動の様子を写真付きでお知らせしている。また、保護者の方々からの情報発信にも用いている。	会報等の作成には、今後、前向きに取り組んでいきたい。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			個人情報は、鍵付き書庫に保管し、写真等の取り扱いも、ご希望に合わせて慎重に取り扱っている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			ご利用者様向けアプリを使い、日々の活動の様子を写真付きでお知らせしている。また、保護者の方々からの情報発信にも用いている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			昨夏には、夏祭りを行い、近隣の子供たちを招待しました。	今後、また行えるよう前向きに準備していく。
非常時等の対応	④⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時にはマニュアル等の案内・説明をさせて頂いており、スタッフには定期的な訓練を実施している。	
	④⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回、訓練を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員研修でも議題として取り上げている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に重要事項説明書の中で説明を行っている。また契約時には必ず承諾書を提出して頂いている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アセスメント時に確認し、アレルギーのあるお子様については、ご利用開始の事前に、改めて、テストを受けて頂き、結果を把握させて頂いている。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			都度、作成し事業所内で共有している。		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。